

2014年度から開始される大学の「予知研究」における全国連携課題 New coordination program of next "earthquake prediction research" based on the electro-magnetic methods

長尾 年恭^{1*}; 児玉 哲哉²
NAGAO, Toshiyasu^{1*}; KODAMA, Tetsuya²

¹ 東海大学地震予知研究センター, ² 宇宙航空研究開発機構
¹Earthquake Prediction Research Center, Tokai University, ²JAXA

2009年度より5ヶ年計画で開始された大学等の「地震及び火山噴火予知のための観測研究計画」は2011年の東北地方太平洋沖地震の発生により、その計画の大幅な見直しが外部評価委員等から求められた。結果として2014年度からは「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」として実施される事となった。しかしながら我々は地震予知研究の本命は短期・直前予知以外にはないとの主張を従来から行なっている。このため、次期計画では短期・直前予知の電磁気学的な研究は東海大学から「全国連携課題」として提出することとなった。大学の予知協議会メンバーからは北海道大学、東大地震研および九州大学が参加し、それ以外にも東京学芸大、電気通信大、千葉大、中部大等に協力を要請している。

具体的にはVLF帯パルス電磁波観測、VHF帯散乱観測およびDC-UHF帯の観測に特化して観測的研究を実施する。またそれ以外にも各種衛星データの活用を始め、GPS-TEC解析なども組織的に実施し、先行現象を用いてどの程度予測精度(確率利得)を向上させられるかを明らかにしていく。

キーワード: 地震予知, 電磁気学, VLF, VHF
Keywords: Earthquake Prediction, Electromagnetics, VLF, VHF